

# 家畜伝染病に係る防疫対策等の実施

【担当省庁】 農 林 水 産 省

## 奈良県における取組



野生いのししにおけるCSF(豚熱)の感染状況等を踏まえ、本県をCSFワクチン接種推奨地域に指定していただき感謝します。

### 現状と課題(背景・要望する理由等)

- 飼養衛生管理基準の改正に伴う農家負担増加
  - 交差汚染を防止するため、農場において、新たに防鳥ネット、更衣施設、消毒施設等の整備が必要となる。
  - 食品残渣を利用した飼料(エコフィード)を製造する際の、加熱基準も厳格化され、基準に対応するための施設整備には多額の費用を要する。
  - 養豚場のバイオセキュリティを向上させるための大規模な国の財政支援は、今年度限りのものとなっているが、防鳥ネット等、更新が必要な設備については畜産農家に継続的な負担が発生する。

# CSF (豚熱)等の発生状況

## <国内でのCSF発生状況(令和2年5月現在)>

飼養豚の発生	岐阜県、愛知県、三重県、福井県、埼玉県、長野県、山梨県、沖縄県(8県) (関連農場等の発生:長野県、岐阜県、大阪府、滋賀県、愛知県、山梨県、沖縄県)
野生いのししの感染確認	岐阜県、愛知県、三重県、福井県、長野県、富山県、石川県、滋賀県、埼玉県、群馬県、静岡県、山梨県、新潟県、京都府、神奈川県(1府14県)

## <奈良県の状況>

- 令和2年1月20日 飼養豚へのワクチン接種を開始
- 令和2年1月30日 初回ワクチン接種完了(約4,000頭)
- 令和2年3月 2日 抗体保有検査完了
- 令和2年6月25日 野生いのししに対する経口ワクチン散布を開始
- 令和2年7月 1日 CSFの発生リスクが高い地域として、「豚及びいのししに係る大臣指定地域」に指定

## <アジアにおけるASF(アフリカ豚熱)発生状況(令和2年6月現在)>

中国、ベトナム、モンゴル、カンボジア、香港、北朝鮮、ラオス、ミャンマー、フィリピン、韓国、インドネシア、東ティモール、インド

## 国にお願いすること

- 飼養衛生管理基準の厳格化に伴う、畜産農家の施設整備等に対する継続的な財政的支援をお願いする。



<更衣施設>



<エコフィード>

農林水産省 令和元年度「エコフィード全国セミナー」資料より